



夢叶うまで挑戦

前期後半 30日 (~10/4) がスタート!

28日間あった夏休みも終わり、10月4日(金)までの前期後半が、先週22日(木)から始まりました。

この期間は、特に生徒会最大行事でもある南輝祭や、運動会・音楽会に向けて、学級づくり・学年づくりをより進めていく時期です。今年度の南輝祭テーマ「輝(きりり) 一人一人の自分色」の実現に向けて、一人一人が、また、各クラスや各学年が、「自分自身も輝き、仲間(友人)も輝く」ように、努めていってほしいと思います。

461名すべての生徒にとって「ウェルビーイングな南中」の実現に向けて、気持ちも新たに学校生活をスタートていきましょう!

先生方も夏休み中、勉強(研修)しています

先生方も、前期後半・後期前半に向けて、さらに学校を盛り上げていくために、様々な研修をしています。生徒の皆さんの学習等に、より生かしていきたいと思っています。

① 7月25日(木) 南部3校研修会 <会場:中洲小学校>

中洲小で南部3校の研修会が行われました。研修会では、東京から企業の方をお呼びし「study note」を使った授業づくりについて、体験・研修をしました。日常の授業で、もっと「study note」を活用できないか、個人で描いた絵やことばを画面上で共有し意見を交換する等のスキルを学びました。南中が目指す「学び合い」の授業づくりに生かす研修となりました。

② 8月1日(木) 「eライブラリー」「study note」研修 <本校>

「eライブラリー」「study note」の活用について、本校GIGAスクール・情報教育係:山口晃先生が研修を開催し、業者の方や諏訪市ICT委員会の先生を講師にお呼びして、活用の仕方を学びました。上記、南部3校研修会で「study note」研修を行ったこともあり、多くの質問が出され、有意義な研修となりました。タブレットを活用して学びを深めていく機会を少しでも増やしていきたいと思っています。

③ 8月21日(水) ものづくり研修:「寒天ゼリーをつくろう!」 <本校:調理室>

夏休み最終日、本校ものづくり係:高橋沙生先生が講師となって研修を企画・開催し、諏訪名産の寒天と学校で採れた梅をつかって寒天ゼリーをつくりました。

手順や分量を確認し調理を進めていく中で、自然と対話が生まれ、相手意識に立った美味しい寒天ゼリーを作ることに熱が入っていきました。先生方も主体的に活動に取り組み、協働的に学んでいく様子がそこかしこに見られる研修となりました。



④ 8月21日(水) 生徒理解研修

前期後半のスタートにあたり、前期前半を振り返り、すべての生徒にとって「ウェルビーイングな南中」となるように、それぞれの学年の良さや課題を整理し、どのように指導をしていったらよいか等考え、アイデアを出し合いながら、全職員で共有を図っていく研修を行いました。他学年の良さや課題にふれる中で、自学年の良さを伸ばし、課題を解決していく手立て等、考えをより深めることができました。



【前期後半に、各学年で大切にしていこう姿・大切にしていこうこと】

	1学年	2学年	3学年
生活	○小さな成功体験の積み重ねから、大きな感動を得る。 ・南輝祭歌声づくり、学級づくり 無言入退場 ・自分のいいところに気づく	○清掃に力を入れて取り組む。 ・清掃リーダーを中心に ・縦割り清掃の活用 ○時間を守る	○8:10入室の徹底 ・時間意識を育てていく。 ・生活リズムをつくり整える (今後の進路に生きてくる)
学習	○聞く力を伸ばし、学習に生かす ・人の話をきちんと静かに「きく」 ことを大切にしていこう。	○教え合う姿や生徒同士が関わり、ともに学ぶ場を大切にす。	○得点力をつける (入試に向けた基礎学力) ・自信をもたせる ・個々の良さをフィードバック

学習ガイダンス(8/22)の様子から

【無言入退場→静寂な空間→真剣な眼差し 初日から南中生の☆輝(きらり)☆】

夏休み明け初日の8月22日(木)第1校時、全校生徒が体育館に集まり「学習ガイダンス」を行いました。

今年度4月から大切にしてきた「無言入退場」。夏休み明けすぐでも、全校生徒が教室から体育館まで黙って入場する姿が見られました。これまでも一番良い無言入退場でした。ガイダンスが始まってからも、静寂な空間や話を聞く真剣な眼差しは、今年の南輝祭のテーマ「輝(きらり) 一人一人の自分色」につながっていて、とても良かったと思います。



【キーワードは、「ヘルプ」と「アシスト」】

学び合い・授業づくりリーダーの笠原大弘先生からは、

「ウェルビーイングな南中」～授業でも学校生活でも～ の実現に向けて、

第1回スクールミーティングで「授業の中でウェルビーイングを感じる時」との問いに、「友だちと一緒に学んでいる時」「協力して解いている時」「話し合いやグループ学習をしている時」といった生徒の皆さんからの『学び合い』の重要性・必要性の声を受けて、今後改めて学校として大切にしていこうことのお話(ガイダンス)がありました。

知識を学ぶだけならば自分一人でも学べる。自分の問いや疑問を先生や仲間と共に学ぶことは、授業でしかできない。だからこれからは、グループなどでの学び合いも積極的に取り入れていきたい。

【そのために大切にしたいこと】として、以下のこと確認し、実施していきたくて考えています。

そのために大切にしたいこと
 分からないことや困っていることを
 周りに安心して伝えられる力
 →ヘルプを発信する力(受援力)
 分からない人や困っている人が何に
 困っているのかをしっかりと聴く
 →友のヘルプをアシストする力
 (傾聴力)

そのために大切にしたいこと
 授業の中での座席も意識的していこう
 今までの様に全員で黒板の方を向き
 集中して学ぶ座席配置
 →前向きモード
 互いに助け合って学ぶ座席
 →学び合いモード

セクハラや生徒に関わる相談窓口は、
 保健室(南校舎管理棟1階職員室横西側)
 校長室(南校舎管理棟1階職員室横東側)
 です。何か不安や悩みがあったら相談を。

諏訪市立諏訪南中学校 文責:市川 寿(教頭)
 電話:0266(53)5566 FAX:0266(53)5563
 電子メール suwaminami.jhs@suwa-ngn.ed.jp
 HP <http://www.city.suwa.lg.jp/site/school/list78.html>

